

第4回安城市総合交通会議 議事録

日時

平成30年1月12日(金)午後1時45分～

2 場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員

22名

4 会議内容

1 あいさつ

2 議題

(1) 安城市地域公共交通網形成計画について

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

3 報告事項

(1) あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

委員からの主な指摘事項と対応について

議題(1)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><愛知運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> 36 ページの名鉄バス安城線の延伸について、イメージ図も掲載されていますが、名鉄バスと調整しているのでしょうか。調整状況を説明していただきたいです。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> 連携計画のときから名鉄バスと事前に協議を重ねており、概ね条件付ではありますが、延伸は出来るだろうということで前向きなご意見をいただいています。この計画5年間のうちでは実現が可能であると考えため、計画に掲載しています。
<p><名鉄バス></p> <ul style="list-style-type: none"> 社内的な事情を説明させていただきます。事業計画の変更になりますので、社内の最高決定機関での決定が必要になりますが、3ヶ月に1回しか開催しないので、現時点では社内的な合意はできていません。そのため、検討中であるということをご承知おき願いたいです。社としての意思決定は2月末ぐらいにはできると考えております。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在は、確定したように書いてあるので、少し表現を整理してください。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> 表現については検討させていただきます。
<p><安城交通></p> <ul style="list-style-type: none"> 34 ページの一般タクシーの路線機能について、「及び上記公共交通が運行されていない時間帯」という表現は利用者に誤解を招きやすいと思います。この文言を「ドアツードアを希望する方や」とするのはどうでしょうか。“ドアツードア”という言葉が業界の中で普通に使っているので、そういった表現にしてほしいです。 5 ページの市内バス利用者数について、循環線と南部線とかを乗り継いだ人を1カウントしているのかわからないのでの補足説明を書く予定はありますか。 <p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> “ドアツードア”とすると戸口から戸口までであり、途中で乗った方はカウントされないということになります。広い意味でタクシーのサービスがあると表現された方がいいと思います。“ドアツードア”とってしまうとそれは利用の形態になってしまいます。広い意味で一般タクシーは多様な使い方があるところを表現されたつもりだと思います。分かりやすい表現に調整してください。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> 34 ページの表現については、検討し、必要に応じて修正します。 カウント方法は、1路線に乗った時に1カウントとしており、再編前後でカウントの仕方は変わっておりません。それぞれの路線に乗ったカウントと考えており、特に表記するということは考えておりません

<p><愛知運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 33 ページの公共交通の機能分類に対応したものが公共交通ネットワーク図だと思いますが、よく似た図として27ページの公共交通軸の形成イメージがあります。27ページは公共交通軸の形成イメージという言葉と33ページの基本方針展開図とって少し違うというところがあります。軸のイメージというのは都市マスからきているのでしょうか。公共交通の目指す姿というのは33ページだと思います。そこで、公共交通軸の形成イメージという図の中に都市マスからきているということを明記しておいた方がいいと思います。 ● 32ページの地域と行政が協働で取り組む利用促進の実施件数の目標値の5件の根拠を教えてください。 ● “地域”という言葉がいろいろなところがありますが、この“地域”という言葉がどこを指しているのかあいまいになることもあるので、整理した方がいいと思います。この“地域”はどういう意味合いで書いているのか教えてください。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 27ページの図は都市マス等の大きな枠組みの中でのイメージ図になりますので、分かりやすい表現を検討して必要に応じて追加します。 ● 32ページの地域と行政が協働で取り組む利用促進策については、現在やってない中で本当に出来るのかどうか不確定なところがございます。目標として5年間の計画で年間1件は何か行っていきたいということで、累計で5件としています。 ● “地域”の表記ですが、以前は“市民”と表記していましたが、市民というどうしても市民1人1人というイメージがあります。バスについては地域の意見も聞きながら地域と協働で進めていきたいという思いがあるので、本計画については、“地域”という表記で統一しています。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安城市の中で一般的に“地域”と書いたときに住民の皆さんが“地域”というのは、このような集まりというイメージがあるのでしょうか。例えば安城の南の方は何とか地域とかそういうイメージがあれば、“地域”という言葉が分かりやすいですが、そういう共通認識みたいなものがあればいいというご指摘だと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般的には安城は町内会という単位が明確にされています。自治区とか言う表現よりも町内会単位での各地域という表現が安城としてはしっくりくるということで、こういう表現にしています。
<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名鉄バスの延伸について、名鉄バスさんからの回答では、2月末には社内で決定されるということでしたが、本計画は2月からパブリックコメントを実施し、その後、計画の公表は3月末過ぎになると思います。そういった場合でも表現は“検討する”としておいた方がよろしいでしょうか。 	<p><名鉄バス></p> <ul style="list-style-type: none"> ● パブリックコメントの段階で一般の方へ公開されてしまうので、そこで確定的に扱われるというのは避けたいです。

<p><杉浦></p> <ul style="list-style-type: none"> ● グラフの数字が大変読みにくいです。青の上に黒が書いてあると読みにくいです。例えば12ページのグラフと13ページのグラフだと青いところに数字が白抜きになっているので見やすいですが、隣のグラフは青いところに黒の字で書いてあったり、グラフの線の境に数字が書いてあったりするととても読みにくいんです。 ● 28ページの下のは、中心の三角の上に字がのっていますが、これもレイアウトを変えたほうがいいと思います。三つが矢印になってこの三角のところの言葉が入ってくるという形をした方が見やすいと思います。絵の上に字がのっているのは読みづらいです。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 13ページのところ読めないの白抜きにしていますが、全般的にわたってもう少し見やすいようにレイアウトや文字の色を検討させていただきませう。 ● 計画を全般的精査し、読みにくいところは読みやすいように修正させていただきたいと思います。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 34ページの鉄道の機能の文章は、文章的にはちょっと変な文章になっています。都市間を結び広域的な交通基幹軸としての機能を担うとこういことですか。 ● 39ページの(仮称)地域の交通を育む会の役割についてです。簡単に言うと地域公共交通の応援団を作りましょうというイメージだと思います。できれば格式ばったものではなく市民の方が手を上げやすいような、みんなで楽しくやるんだというイメージを入れてもらえるといいと思います。堅苦しい活動や役割だと感じるので、もっと楽しくやろうというようなところがあってもいいと思います。イベントやみんな一緒に楽しいツアーを作ったり、やってみたりするようなイメージがあってもいいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表現を修正します。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 評価に関する事項は、大変細かく設定されていて、かなり前向きでいいと思います。一つだけお願いしたいのが、総合交通会議で全体を議論しようとする時にチェックしてアクションにつなげるところは、全体会議は何回もやれる訳じゃないので、ぜひ事業者さんも含めて分科会のような上手く議論しあえる場を作っていただけると大変いいと思います。計画に書いて欲しいとは申しませんが、運営をチェックしていく仕組みとして、そういうところがあったらいいと思います。事務局は評価を実際に運営していく上での不安があれば教えていただければと思います。 ● 全体のチェックをしていく最終的な確認はこの総合交通会議で承認をいただくという仕組みが必要だと思います。たたき台を作る上でいろんな意見が出ていいかなと思いますので、事務局の方でご検討いただけたらと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を参考にしながら今後どういふふうに評価する仕組みを作っていくかについて、また検討させていただきたいと思います

<p><山崎></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 39ページの地域の交通を育む会の取り組みは、を再読しましたしたんですけど、そうするとやっぱりおっしゃったように“役割”や“努めます”という文言は難しいです。できれば期待するものであるとか望むものであるとか利用を高めるために知恵を貸して欲しいとか、そういう歩み寄ったイメージがあると地域の方もやる気が出ると思います。受け取る側の気持ちを想像して書いていただくと進行が少しでもスムーズになるのかなと思いました。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● そういったことも踏まえて考えさせていたきたいと思います。
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 先程の名鉄バスのデンパークへの延伸の話は、検討中として、しっかり方向性が見えたところで書き込むということです。パブリックコメントまではその表現に変えます。 ● 言葉や中身の表現については、今日ご指摘をいただいたことを踏まえて、修正します。 ● 来月の9日から1月間パブリックコメントとして、市民の皆さんに案を提示し、皆さんからご意見をいただき、3月の最後の会議には確定版としていきたいと思います。 	

議題(2)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><愛知運輸支局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中部様式2の今後の対応方針というところで、引き続き路線を検討することや利便性を図ることは記載がありますが、網形成計画の策定を進めているので、その内容について書いていただいた方がいいのかなと思います。 	
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 形成計画がパブコメの段階にあり、大きく内容が変わることは考えにくいですが、そのため、地域公共交通の姿をまとめた1～3ページはもっと簡単に書いて、策定中の公共交通網形成計画について、総合交通会議で議論をして、ネットワークの姿を考えたということをもとめるべきです。形成計画のネットワークは連携計画と比べ、路線再編をして変わったことやデンパークへの延伸を考えていることをまとめるとわかりやすいと思います。様式2については形成計画の検討の段階や前回の評価委員会からの指摘に対する対応が明確になされていると思います。 ● 9ページは文章だけでは説明が難しいです。当日の説明は5分しかないです。評価した結果を基に形成計画ではこういうことを考えているということを整理してください。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出来るだけ反映できるように努力してみたいと思います。

報告(1)

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線によって増加率に随分差があります。平均すると10%くらいの伸びですが、例えば作野線、東部線、西部線、北部線は大きく伸びているので、その理由として感じるところがあれば教えてください。 ● これだけ利用が伸びてくると、バスの車両の大きさもあり、今まではゆったりと座れていても、便によっては難しいということが起きかねません。そういうことは、まだ起きていませんか。 ● 事業者や運転手に状況を教えてもらえるといいです。時々運転手にも状況をヒアリングできるといいです。簡単なヒアリングでいいと思いますので、是非事務局も事業者さんと協力して、チェックをしてもらえればいいと思います。 	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安祥線は、アンフォーレへ行かれる方が利用しています。アンフォーレのバス停は、開業前と比べて3倍以上の利用者数になっています。西部線、作野線と北部線の沿線地区では、区画整理事業を以前行っており、人口自体も伸びている地域であるため、そういったことも影響していると考えています。 ● 作野線は、昨年10月から名鉄バスさんに運行が変わっていますが、積み残しという状況まではきてないと思います。

その他 名鉄バスの資料について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
<p><会長></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 是非ご活用いただけたらと思います。いろんなところでバスの話題をしていただけるとバスが身近になっていただけるんじゃないのかなと思います。この頃テレビでも路線バスの旅は正月の定例番組になったりしております。是非この資料のように地域のバスを載っているとすごくネットワークが細かくされていることがご理解いただけるのではないかと思いますので、もし、もう少し話を聞きたいという場合は、知立営業所等にお問い合わせいただけたらと思います。 	